

エコアクション21

環境活動レポート

2009年度



2009年10月～2010年9月（第2号）

株式会社 近代プラント

作成日：2011年01月20日

更新日：2011年04月07日

目次

基本理念と環境方針.....	3P
1. 組織の概要.....	4P
1). 事業所名及び代表者名	
2). 所在地	
3). 環境管理責任者氏名及び担当者	
4). 事業内容(認証・登録の範囲)	
5). 会社沿革	
6). 事業の規模	
7). 許可の内容	
8). 保有台数	
9). 事業年度	
10). 実施体制	
2. 環境活動計画の内容.....	7P
3. 環境目標及びその実績.....	7P
4. 環境活動の取り組み内容とその結果の評価.....	8P
5. 次年度への取り組み内容.....	12P
6. 環境関連法規等の順守状況.....	12P
7. その他.....	12P
8. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	13P

基本理念

多様な環境問題が懸念される中で、特に水環境の保全は最重要課題のひとつです。

近代プラントは福岡市東部を中心に、市内の排水を浄化して河川に放流し、一部は中水道（雑用水）として再利用しています。またその過程で集めた汚泥を脱水、焼却して再資源化、および肥料化を行っております。

私達は三十年以上に渡って事故のない操業を続け、住みやすい安定した地域を造ることで、地元自治体から確かな信頼と評価を頂いてきました。

今後も安全な運転はもとより、資源の節約のために高度で効率的な運転技術が求められるため、社員全員が一丸となり、更なる企業努力を行って参ります。

福岡市の水環境が豊かな自然を育み、地域の皆様にとって住みよい憩いの場として愛され続けるよう、私達は縁の下の力持ちとして、たゆまぬ挑戦を続けます。

環境方針

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取り組みを行う。
 - (1) 事業活動に伴う電力、燃料の使用量を抑制し、二酸化炭素発生量を削減する。
 - (2) 節水により上水の使用量を削減する。
 - (3) 事業所で発生する一般廃棄物の削減と再生利用を推進する。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
4. 環境活動レポートを作成して公表する等で、環境コミュニケーションを推進する。

平成20年 7月 1日

株式会社 近代プラント

代表取締役 石田 保

1. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 近代プラント

代表取締役社長 石田 保

(2) 所在地

本社:福岡県福岡市東区松島4-13-15

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

責任者:企画調整部 部長 前田 隆志

担当者:企画調整部 課長 石田 保憲

本社 TEL092-611-1025

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

福岡市の委託による下水処理場等の施設管理

(5) 会社沿革

昭和43年3月 福岡清栄工業株式会社 設立

昭和50年3月 株式会社近代プラント に社名変更

平成21年6月 エコアクション21の認証を取得

現在に至る

(6) 事業の規模

表1. 事業規模

活動規模	単位	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
処理量					
流入水量(東部水処理センター)	m ³	39,642,526	36,664,304	37,852,768	40,102,590
汚泥供給量(東部水処理センター)	m ³	220,590	217,454	185,677	213,945
MAP 発生量(東部水処理センター)	t	26	22	36	44
脱水ケーキ焼却量	t	38,920	37,861	36,988	40,696
脱水ケーキ運搬量(車輛班)	t	-	3,075	5,252	4,699
焼却灰運搬量(車輛班)	t	-	4,568	4,355	4,371
肥料生産量(下水道資源センター)	t	1,179	1,258	1,104	1,008
従業員(全社)	人	76	76	75	74
床面積					
本社(敷地面積)	m ²	962	962	962	962

(7) 許可の内容

表2. 許可の内容

業の種類	発行機関	許可年月日	事業範囲	許可した廃棄物の種類	有効期限	許可番号
産業廃棄物収集 運搬業	福岡県	H.19年12月18日	収集・運搬	燃え殻、汚泥、ばいじん	H.24年12月17日	4000001300
産業廃棄物収集 運搬業	福岡市	H.18年6月14日	収集・運搬	燃え殻、汚泥(下水汚泥に限る)、ダスト類	H.23年6月13日	7700001300
産業廃棄物収集 運搬業	北九州市	H.20年1月7日	収集・運搬	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く)、ガラスくず(自動車等破砕物を除く)、がれき類、ダスト類	H.25年1月6日	7600001300

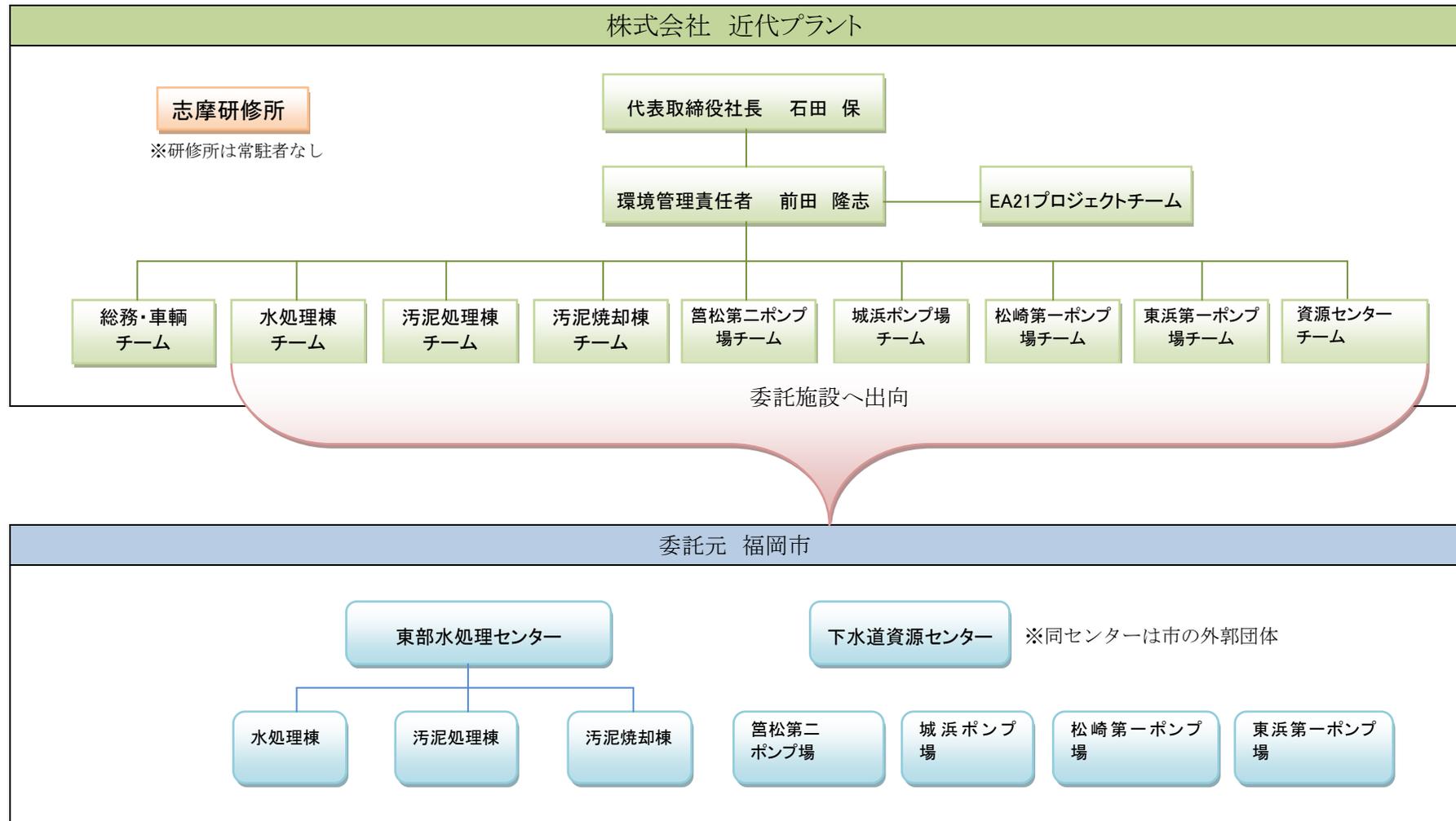
(8) 保有台数

◆10t ジェットパック車	(3 台)	◆ホイローローダー	(2 台)
◆10t ダンプ	(3 台)	◆フォークリフト	(1 台)
◆10t バキューム	(1 台)	◆乗用車	(3 台)
◆4t ダンプ	(3 台)	◆軽自動車	(10 台)
◆4t ダンパー	(1 台)	◆バス	(1 台)
◆2t ユニック	(1 台)	◆4t バキューム	(1 台)

(9) 事業年度

3月から翌年2月迄(エコアクション21の取り組み期間は10月から翌年9月迄)

(10) エコアクション21 2009年度 実施体制



2. 環境活動計画の内容

1) 二酸化炭素の削減

- ・設備の効率的運転
- ・エアコン温度の適正化
- ・不要照明の消灯
- ・エコドライブ運転の実施
- ・アイドリングストップの徹底
- ・給湯温度を低めに設定

2) 可燃ごみ排出量の削減

- ・生ごみの肥料化
- ・可燃ごみ削減の呼びかけ
- ・リサイクル品を分別する
- ・家庭資源のリサイクル
- ・両面印刷裏紙使用

3. 環境目標及びその実績

表3. 2009年度の取り組みの結果(CO₂や廃棄物および水の排出量)

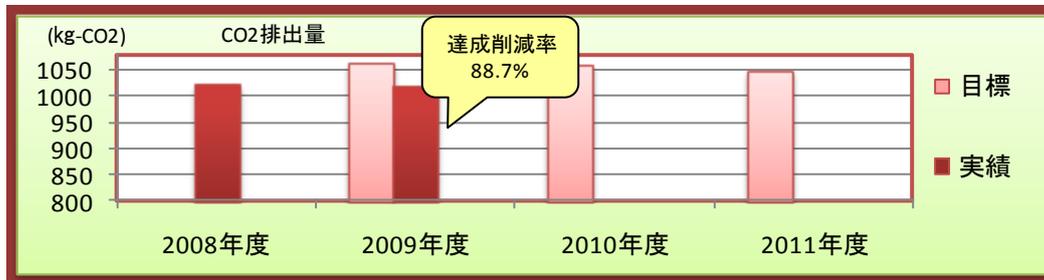
環境目標		基準値	2008年度	2009年度		2010年度
			(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比
二酸化炭素 排出量削減	電力量 [kg-CO ₂ /年]	10,806,120	10,226,174 △4.4%	10,644,028 △1.5%	10,193,987 △4.2%	10,589,998 △2%
	化石燃料 [kg-CO ₂ /年]	128,800	95,802 △29.4%	122,419 △1%	91,056 △25.6%	121,806 △1.5%
	合計[kg-CO ₂ /年]		10,321,976	10,766,447	10,285,043	10,711,804
廃棄物排出量 削減	一般廃棄物 [kg/年]	2355	2,334 0.1%増加	2,311 △1.5%	2,017 △12.7%	2,308 △2%
水使用量削減 [m ³ /年]		36,652	32,954 △9.2%	35,554 △1.5%	31,443 △11.6%	35,376 △2%
化学物質使用量の把握 [L /年]		—	—	—	—	使用量の 把握

※毎年度の目標値は、過去3年間(10月～翌年9月)の実績値を平均して求めた基準値から、毎年同じ割合で削減した数値とする。

4. 環境活動の取り組み内容とその結果の評価

2009年度における取組の評価を行った。主な環境活動についての評価を表4～11に記す。

◆電力CO2排出量の削減◆ (表4)



取組内容(2009年度)	評価
設備の効率的運転	○ あらゆる機器の設定変更や2台運転を1台運転にするなど効率的運転を心掛けた結果だと評価する。
エアコン温度の適正化	○ エアコン設定温度、使用時間の管理が効果的であったといえる。
不要照明の消灯	△ 確実に点けたら消すが身に付いているが、消しすぎにより作業に影響が出る場合あり、検討が必要。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆化石燃料CO2排出量の削減◆ (表5)



取組内容(2009年度)	評価
エコドライブ	○ 車両別に燃費確認表を作成し、燃費を計算して見てもらうことにより各自の意識向上につながった。
給湯温度を低めに設定	△ 全体では達成しているが、一部の部署で未達成だった。特に冬場の使用量が多く検討が必要。
アイドリングストップ	○ 車内にアイドリングストップシールを表示して取組を実施している。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆可燃ごみ排出量の削減◆

(表6)

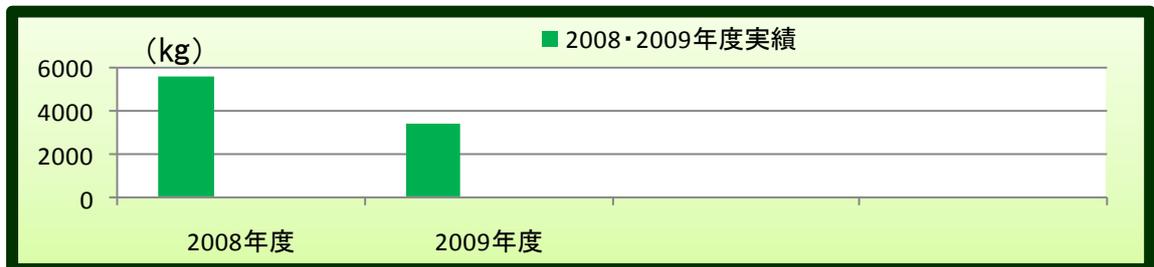


取組内容(2009年度)	評価
生ゴミ肥料化	○ 茶ガラ等を乾燥させることによりゴミの減量化になる為、今後も続けていきたい。
リサイクル品を分別	○ エコの推進により各社員の意識が高まり、分別、リサイクルの徹底でゴミの減量化につながった。
可燃ごみ削減の呼びかけ	○ ウェス廃棄時期の把握、使用後の軍手をウェスとして使うなどの継続的な推進により削減できた。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆資源物のリサイクル◆

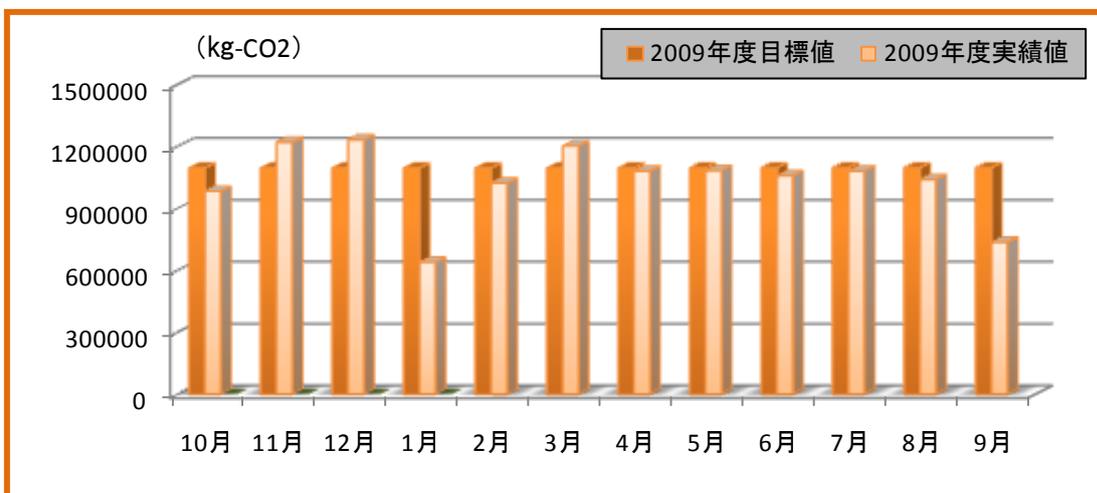
(表7)



取組内容(2009年度)	評価
家庭資源のリサイクル	○ 各自資源物のリサイクルが認識できて協力されている事は評価できる。
両面印刷裏紙使用	○ 区分BOX設置後は、各自の認識、把握ができ区分が徹底されている。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

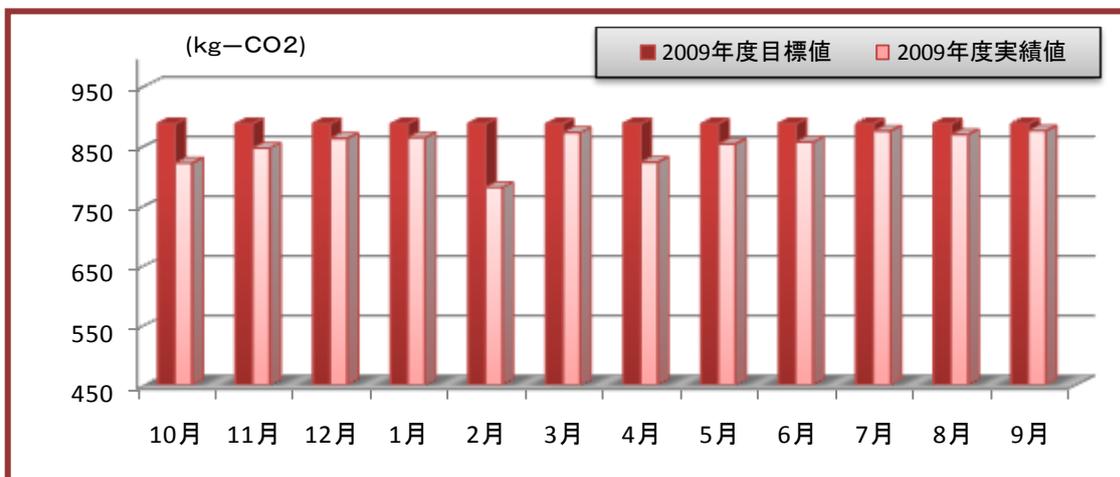
二酸化炭素排出量全体 (表8)



【評価】

二酸化炭素排出量では、全体の年間目標値(94.1%)照明電力の年間目標値(88.7%)いずれも達成しています。この結果を維持しつつ最善の努力を行っていきます。

電力 CO₂排出量 (表 9)

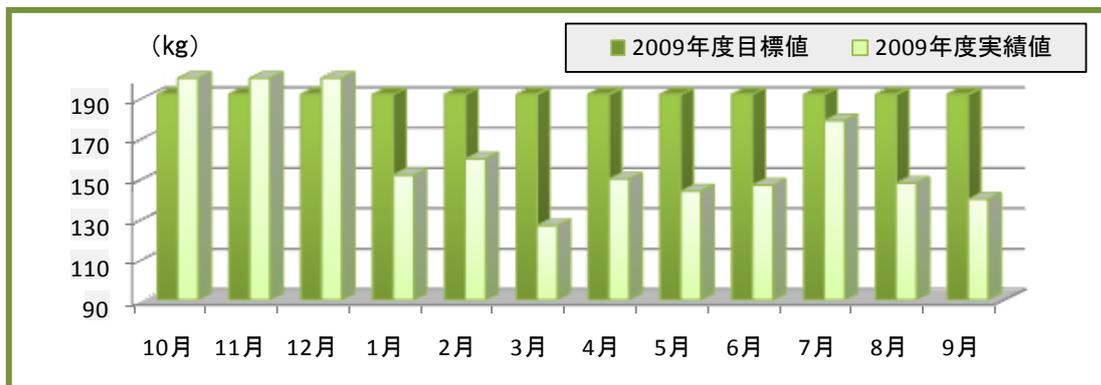


【評価】

電気使用量は、目標値をクリアーすることが出来ました。特にエアコンの設定温度を厳守しながらカーテン・ブラインドによる温度管理を行ったこと、また unnecessaryな照明を消灯したことによる結果だと思えます。

廃棄物排出量

(表 10)

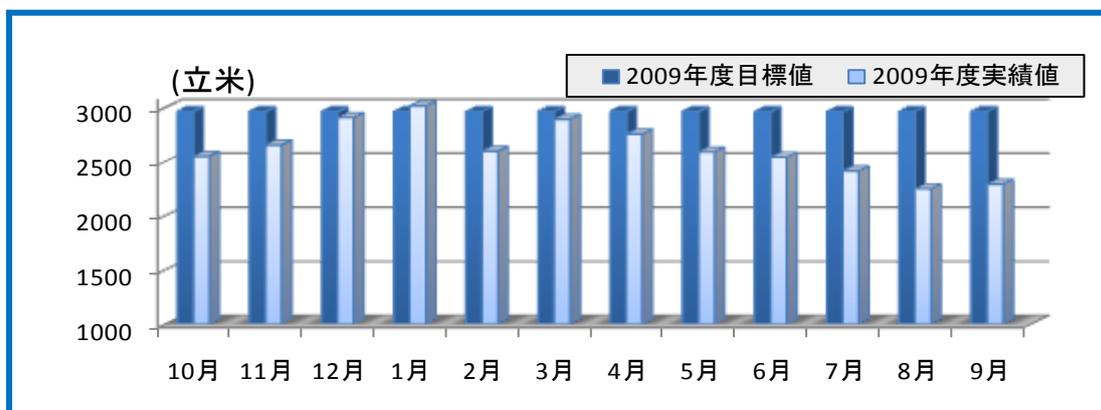


【評価】

可燃ごみの年間排出量は、目標値の 84.3%に削減されました。削減するにあたってジュースやコーヒーなどの飲料はペットボトルやアルミ缶等リサイクル出来る物にしたこと、果物の皮などは水分を飛ばして減量・肥料化したこと等によりゴミ減量を達成出来ました。

水使用量

(表 11)



【評価】

水の年間使用量は、目標値の 84.3%となりました。これは各部署のこまめな節水により出来たと思います。例えば汚れ物のウエスや軍手などは、ある程度たまってから洗濯するように心掛けてもらったり、水漏れや水の出しっぱなしをこまめにチェックしたりした結果だと思っています。来年度も本年度の実績値を維持しつつ頑張っていきます。

5. 次年度への取り組み内容

エコアクション21ガイドラインが 2009 年度版に移行するに伴い、新たに化学物質使用量の管理、グリーン商品購入の推進を行う。

- ①化学物質使用量は委託内容により左右されるため、目標設定をせず適正管理をする。
- ②事務用品などのグリーン商品購入は、購入の判断基準を検討する。

6. 環境関連法規制等の順守状況

環境関連法規制等(2010 年に改定された法律・条例も含む)の順守の状況を評価した結果、環境法規制等の逸脱はなかった。また過去3年間、関係当局よりの違反等の指摘はされていない。

7. その他

①周辺清掃の紹介

弊社では各職場の周辺清掃の他に、地域の清掃活動に参加している。今回の清掃活動は 9 月に開催され、弊社社員と東部水処理センターに関わる職員合わせて約 50 名が参加した。以下の写真は清掃中に撮影したものである。

清掃活動の写真



②資源の収集

弊社ではEA21の取り組み開始に伴い、各職場や社員の家庭で発生する資源を持ち寄り、資源のリサイクルを行っている。2009年度の結果は下表の通り。

資源を収集することで、各職場に対する呼掛けや、家庭で廃棄処分されている資源のリサイクルという形で効果が表れていると評価できる。

表12. EA21における資源の収集結果
H21年10月～H22年09月末

		循環資源量 (kg)
資源物	コピー用紙	69.4
	新聞紙	750.9
	段ボール	578.6
	その他の紙	1084.0
	アルミ缶	45.7
	スチール缶	217.8
	ビン	45.6
	ペットボトル	113.5
合計		2905.4

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

わが社の社員のエコアクション21に対する向上意識が全社員に目覚め、仕事に対する取り組みも活発になり成果も上がっておりますので、よりいっそうの努力を傾注して社員と共に市民の負託に応えていく様に取り組んでまいります。

来期は今期よりも高い目標値の設定およびその達成を実現します。さらにエコアクション21のガイドラインが変更されたことに伴い、化学物質の使用量を管理すると共に、グリーン購入を推進します。

以上